

## 臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名 抗MRSA薬リネゾリドの適正使用に関する検討』

### 【研究の背景および目的】

リネゾリドはメチシリン耐性黄色ブドウ球菌をはじめとする多剤耐性グラム陽性菌感染症に対して優れた有効性を示す抗菌薬です。しかしながら、主な副作用である骨髄抑制は様々な要因によって発現頻度が高まると考えられており、投与の際に問題となる場合があります。

そこで、多剤耐性グラム陽性菌におけるリネゾリドの有効性及び安全性に関連性の強い因子を明らかにし、これにより、薬学的視点より副作用が発現することなく安全に十分な効果を得るための適正な投与方法について検討することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、今後の多剤耐性菌感染症に対する治療戦略を考える上で有用な情報となることが期待されます。

### 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象は、2004年1月～2021年12月までに東邦大学医療センター大森病院で、多剤耐性菌感染症においてリネゾリド(ザイボックス®)を投与された方を対象とします。

方法は、対象となる患者さんの診療録から、決められた調査項目を過去の診療データのみから収集し、評価します。

今回の研究で得られた成果を、医学または薬学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡ください。

### 【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 薬剤部

主任 花井雄貴

電話 03-3762-4151 内線 3489